

宮崎市出身の瑛九（本名：杉田秀夫）は、生涯を通じて常に新しい表現を求め、写真や版画、油彩など様々な技法に取り組みました。またその作風も、初期から晩年に至るまで、印象派やシュルレアリスム（超現実主義）風、抽象的な作品など、多彩に変化しました。

20代でフォト・デッサン集『眠りの理由』を刊行し、一躍美術界で脚光を浴びた瑛九は、様々な技法や表現を模索した後に、その集大成ともいえる点描による絵画空間へとたどり着きました。

今回の展示では、各領域の代表的な作品とともに、瑛九が制作した版画作品の中から小品を特集して紹介します。没後60年近くを経て、今なお輝き続ける瑛九作品の魅力をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	玉井 瑞夫	1923～2014	「瑛九」横顔	1952(昭和27)	23.8×18.8	写真
2	瑛九	1911～1960	フォト・デッサン集『眠りの理由』より	1936(昭和11)	21.6×26.6	フォト・デッサン
3	瑛九	1911～1960	春	1954(昭和29)	53.2×42.4	フォト・デッサン
4	瑛九	1911～1960	森のつどい	1951(昭和26)	42.9×52.0	フォト・デッサン
5	瑛九	1911～1960	ともしび	1957(昭和32)	53.5×40.8	リトグラフ
6	瑛九	1911～1960	丘	1956(昭和31)	39.4×28.5	リトグラフ
7	瑛九	1911～1960	春のおとずれ	1957(昭和32)	52.1×41.0	リトグラフ
8	瑛九	1911～1960	花	1958(昭和33)	35.5×23.4	リトグラフ
9	瑛九	1911～1960	題不明	不明	28.0×22.7	フォト・デッサン
10	瑛九	1911～1960	夜の白	1957(昭和32)	36.3×22.5	リトグラフ
11	瑛九	1911～1960	つばさ	1959(昭和34)	259.0×181.8	油彩
12	瑛九	1911～1960	コップを持つ男	1943(昭和18)	45.8×38.3	油彩
13	瑛九	1911～1960	だだっこ	1954(昭和29)	90.7×64.8	油彩
14	瑛九	1911～1960	空の目	1957(昭和32)	72.7×60.9	油彩
15	瑛九	1911～1960	月	1957(昭和32)	162.2×130.5	油彩, エアブラシ
16	瑛九	1911～1960	丸のあそび	1958(昭和33)	155.7×91.5	油彩
17	瑛九	1911～1960	群	1958-59(昭和33-34)	97.2×130.2	油彩
18	瑛九	1911～1960	作品	不明	9.0×9.5	エッチング
19	瑛九	1911～1960	公園	1951(昭和26)	7.3×9.6	エッチング
20	瑛九	1911～1960	アパートの窓	1951(昭和26)	9.3×13.0	エッチング
21	瑛九	1911～1960	楽園	1951(昭和26)	13.0×12.0	エッチング
22	瑛九	1911～1960	愛の家	1952(昭和27)	9.1×10.5	エッチング
23	瑛九	1911～1960	花	1952(昭和27)	9.9×8.7	エッチング
24	瑛九	1911～1960	イヴ	1952(昭和27)	10.0×6.0	エッチング
25	瑛九	1911～1960	花園	1952(昭和27)	11.1×13.1	エッチング

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
26	瑛九	1911～1960	少女の夢	1952(昭和27)	13.1×4.9	エッチング
27	瑛九	1911～1960	牛	1952(昭和27)	13.3×7.7	エッチング
28	瑛九	1911～1960	トンボ	1954(昭和29)	9.2×7.6	エッチング, アクワティント
29	瑛九	1911～1960	魚の夢	1954(昭和29)	12.0×9.0	エッチング, アクワティント
30	瑛九	1911～1960	迷い道	1956(昭和31)	11.9×9.0	エッチング, アクワティント
31	瑛九	1911～1960	白い輪	1956(昭和31)	11.8×8.9	エッチング
32	瑛九	1911～1960	おさな子	1956(昭和31)	9.2×5.9	アクワティント
33	瑛九	1911～1960	氷河	1958(昭和33)	12.1×9.0	エッチング
34	瑛九	1911～1960	花束	1958(昭和33)	11.8×9.3	エッチング
35	瑛九	1911～1960	線の乱舞	1958(昭和33)	11.7×9.0	エッチング